

(記載例)

振動に関する説明書

事業者名 近畿経産株式会社

事業場名 近畿経産株式会社 大阪発電所

設備名 第1号 ガスコンプレッサー

年 月

振動に関する説明書

一 設置しようとする発電設備等の概要

事業者名 代表者の氏名 (代理人の職氏名) 住所	近畿経産株式会社 取締役社長 田中 一雄 (代理人————) 大阪府大阪市中央区大手前1丁目5番44号	
事業場の名称 事業場の所在地 常時使用する従業員数	近畿経産株式会社 大阪発電所 大阪府大阪市北区中之島1丁目3番5号 10人	
発電設備の概要	発電設備等の設備番号 発電設備等の出力	第1号 ガスタービン 400kW
	圧縮機 種類 容量及び原動機の出力 個数 使用開始時刻 使用終了時刻	油冷式スクリュウ圧縮機 容量150m ³ /h、原動機出力15kW 1台 7:00 18:00
	破碎機 種類 容量及び原動機の出力 個数 使用開始時刻 使用終了時刻	————
	摩砕機 種類 容量及び原動機の出力 個数 使用開始時刻 使用終了時刻	————

(注) 1 特定施設の種別に応じ様式に準じて記載すること。

二 振動防止の方法

指定地域の区分 規制基準 振動の大きさ	第2種 昼間65dB、夜間60dB
イ 発電設備の振動の大きさ	50dB (機側1m)
ロ 発電所等の境界線上の振動の大きさ の推定値	30dB
振動防止方法の概要	(本体) 防振ゴム使用、(配管) 防振継手使用

三 添付図面

- イ. 発電所（変電所等）の振動に関する設備の配置図
- ロ. 発電所（変電所等）の境界周辺の状況を明示した図面
- ハ. 境界線上の振動の大きさを記入した図面

- 備考
- 1 本説明書のうち一～二について、写しを一部提出すること。
 - 2 本説明書の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。
 - 3 振動防止法の概要の欄には吊基礎、直接支持基礎（板ばね、コイルばね等を使用するもの、空気ばねの設置等振動防止に関して講じようとする措置）の概要を記載するとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
 - 4 変更しようとする場合は、変更事項について変更前及び変更後の内容を併記すること。